

2025年第14回村上春樹国際シンポジウム

発表者募集のお知らせ

1. アジェンダ

国境と民族を越えて受容されている日本の作家・村上春樹に関連した研究のグローバルな学术交流と研究成果を図り、語学、文学、教育学、文化人類学、社会学、経営学、翻訳学、心理学、比較文学、比較文化、文芸学などの様々な視野で「村上春樹学」の意義を捉えるために、淡江大学では、台湾初の「村上春樹研究センター」（2014年8月）を設立し、定期的に1年に1度「村上春樹国際シンポジウム」を開催することに致しました。

2. 主題 **村上春樹文学における「パートナーシップ」(PARTNERSHIP)**

まず「パートナーシップ」を簡単に定義するなら、それは「協力関係」ということになるでしょう。それは例えば、SDGs 目標 17 に明記された「パートナーシップで目標を達成しよう」という表現で確認できますし、あるいはビジネス上での共同経営を意味したり、LGBTQ カップルの日本での法的立場を意味したりするのです。

例えば、村上春樹の『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』(1985)に「家族もいませんから、今僕が消滅したって誰も困りません。友だちもいないから、僕がいなくなっても誰も悲しまないでしょう」とあります。また『ダンス・ダンス・ダンス』(1988)にも「僕らのまわりにある大抵のものは僕らの移動に合わせてみんないつか消えていく」という記述や「あなたは自分の影法師をパートナーとして踊っていたのよ」という記述が見られます。それらの、人間の孤独や他人と疎遠なように見える記述を逆転させて解釈してみると、これらは周囲に対してパートナーシップを求めていることになるのではないのでしょうか。

パートナーシップなしには2025年に2回目の京都で第14回村上春樹大会を開催することは到底考えられません。また、2025年の大会開催地「京都」は村上春樹が誕生した場所であります。出生後に転居して京都を離れたまま、村上春樹はなお度々友人と親族のいる京都を訪ねています。『ノルウェイの森』(1987)でも「阿美寮」のような山に囲まれた静けさが感じられる京都の場所を登場させています。

村上春樹御自身のことも然ることながら、村上春樹大会の海外開催地を見て思うことがあります。初開催地の北九州市から、京都にある同志社大学、北海道大学、早稲田大学に引き続き、京都大学で開催できることも、得難いパートナーシップに負う所が大きいです。そして、主催者の村上春樹研究センターと、ここにお集まりの諸先生方々、テーマを考案したわた

くし、それぞれ結ばれたパートナーシップによって、村上春樹研究の今後のますますの発展を切り開いていくという期待を込めて、各自に自由に村上春樹文学におけるパートナーシップについて考えていただく所存です。

3. 募集内容

各自の専門領域の角度から上述の主題あるいは関連主題の**未発表**の①学術論文②教育・研究報告。発表は一人一篇とします。二重投稿や既発表の再投稿はご遠慮ください。

4. 主催者

淡江大学村上春樹研究センター

5. 場所 **京都大学・稲盛財団記念館 *予定***

6. 時間 **2025年7月5日(土)・7月6日(日) *予定***

7. 使用語言

中国語、英語、日本語の使用可能（基本的には日本語を共通語とする。）

8. 発表時間

口頭発表 20分、質疑応答 10分

発表原稿は大会当日の会議予稿集に収録します。大会後、再度論文を募集審査し、『村上春樹研究叢書』に掲載する論文を選定いたします。

9. 応募方法

応募時には「村上春樹研究センターHP」

(<https://sites.google.com/gms.tku.edu.tw/cmstku/>)の大会案内サイトページから**発表申込用紙**をダウンロードし、ご記入の上、**2024年9月15日(日曜日)**までに、Google フォーム <https://forms.gle/4fh8RFpXzUXca9sz8> の登録にてお申し込みください。

10. 審査方法

第14回村上春樹国際シンポジウムが海外開催のため、発表場所の関係により、発表本数の制限を設けます。発表要旨について準備委員会でメインテーマに合っていない発表応募などを厳しく審査した後、受け入れる発表の本数と発表者の人数を決定。

11. 発表受諾通知

審査結果は 2024 年 10 月中旬に通知いたします。発表の採否に関わらず、応募資料は返却いたしません。個人情報は必ず厳格に保護いたします。

12. 発表論文全文締め切り

2025 年 6 月 8 日 (日曜日)。締め切りを過ぎたものは棄権とします。

13. 問い合わせ

淡江大学村上春樹研究センター事務局

電 話 +886+2-2621-5656 内線 3590 (センター長・曾秋桂)

メール 152790@o365.tku.edu.tw (広報担当・葉凌)

2025 年第 14 屆村上春樹國際學術研討會

徵稿事宜 (中文版)

1. 宗旨：為促進世界知名村上春樹相關研究之全球化學術交流及精闢研究成果分享，期以語學、文學、教育學、文化人類學、社會學、翻譯學等角度來宏觀「村上春樹學」的意義。淡江大學成立的台灣第一所「村上春樹研究中心」(2014 年 8 月)，繼續肩負定期舉辦 1 年 1 度「村上春樹國際學術研討會」的任務。
2. 主題：**村上春樹文學中的「夥伴關係」(PARTNERSHIP)**
3. 發表內容：撰寫上述主題或相關主題之**未發表**①學術論文②教學·研究報告為限，嚴禁一稿多投，每人以一篇為限。
4. 主辦單位：淡江大學村上春樹研究中心
5. 地點：**京都大學·稻盛財團紀念館 * 暫定 ***
6. 時間：**2025 年 7 月 5 日 (週六) · 7 月 6 日 (週日) * 暫定 ***
7. 使用語言：中、英文、日文皆可 (日文尤佳)
8. 發表時間：①口頭發表 20 分鐘，討論 10 分鐘
發表原稿將收錄於大會會議論文集當中。大會之後將從中募集論文，經過嚴格審查後刊載於《村上春樹研究叢書》。
9. 報名方式：報名發表時請自「江大學村上春樹研究中心」

<https://sites.google.com/gms.tku.edu.tw/cmstku/> 下載報名表, 填寫完

成報名表後請於 **2024 年 9 月 15 日 (週日)** 前上傳 Google 表單

<https://forms.gle/4fh8RFpXzUXca9sz8>

10. 審稿辦法：第 14 屆村上春樹國際學術研討會於海外舉辦，由於場地限制，籌備委員會將根據發表摘要嚴格審查是否符合本次大會主題，決定接受發表的數量。

11. 發表接受通知：評審結果於 **2024 年 10 月中旬**寄出。不論接受與否，所有投稿發表資料恕不奉還。個資會謹慎保管。

12. 發表全文截稿：**2025 年 6 月 8 日 (週日)**。逾期者將視同放棄參加。

13. 詢問處：淡江大學村上春樹研究中心辦公室

電 話：+886+2-2621-5656 分機 3590 (主任·曾秋桂)

郵 件：152790@o365.tku.edu.tw (公關·葉菱)